



NHK水戸児童合唱団ミニコンサート

式典のほかにさまざまなイベントが行われました

式典が終わり、グロービスホールから退場する皆さんを、NHK水戸児童合唱団が、「勇気100%」や「Believe」などの歌で見送りました。やぐら広場に響く美しい歌声に、観客の皆さんからは大きな拍手が起きました。

また、グロービスホールでは、野平一郎さんによるコンサートが開催されました。モーツァルト：ピアノソナタK.331<トルコ行進曲付き>や、ドビュッシー：月の光、ショパン：華麗なる大円舞曲 作品18 など、全6曲が演奏されました。



NHK水戸児童合唱団



グロービスホール&ピアノお披露目コンサート



野平一郎さん

エントランス広場では、ネーミングライツスポンサーの株式会社グロービス代表取締役の堀義人さん、株式会社ユードム代表取締役社長の森淳一さんと高橋市長が鼎談^{ていだん}(※)しました。水戸市民会館を軸として、「水戸の活性化をどのように進めるか」「グロービスホール及びユードムホールをまちづくりにどのように活用するか」などについて、熱く議論しました。



ネーミングライツスポンサーと市長の鼎談会



『ファンファーレ!!』公開稽古

ユードムホールでは、コロナ禍での吹奏楽部員たちの奮闘を描く舞台『ファンファーレ!!』の公開稽古が行われたほか、やぐら広場では、水戸市内の7つのライオンズクラブ合同でいけ花のコラボパフォーマンスが行われました。



ハワイエから見える水戸芸術館の塔



いけ花コラボパフォーマンス

7月2日は、午前9時の開館から午後10時の閉館までに計11,084人の方が水戸市民会館を訪れました。

(※)3人で向かい合って話し合うこと



特集

水戸市民会館 オープニング フォトレポート

水戸市民会館が開館して約3か月が経過し、多くの方が来館しています。皆さんも、もう訪れましたでしょうか？

この特集では、7月2日に行われた水戸市民会館開館記念式典、翌週7月8日・9日に行われた「ゆず」によるこけら落とし公演の様子を振り返ります。

問合せ／新市民会館整備課(☎231-7070)

7/2

水戸市民会館 開館記念式典

開館記念式典には、約1,700人が参加。狂言師の野村萬齋さんによる「三番叟」の上演が行われ、迫力ある演舞で観客の皆さんを魅了しました。

また、水戸市民会館に設置するピアノを選定した、作曲家でピアニストの野平一郎さんによる「ピアノ開き」も行われました。

高橋市長は、式典のあいさつの中で「市民会館をととして、新しい文化を呼び込み、あるいは創造して、皆さんが愉快で楽しく、笑顔あふれるまちにしていきたい」と今後の展望などを力強く語りました。



三番叟・和泉流・野村萬齋さん



—居心地が良く、日常的に訪れたい場所—
こんな使い方もできます！

水戸市民会館が開館して、8月までの2か月で、1日平均約4,000人、累計24万人を超える方が来館しました。イベントなどが行われる休日だけでなく、平日でも多くの方が訪れています。

水戸市民会館には、コンサートやイベントがなくても、日常的に使用できる場所がたくさんあります。学校や仕事の帰り、お出かけなどの際に、ぜひ立ち寄ってみてください。居心地が良く、日常的に訪れたい場所になることでしょう。



ラウンジギャラリー

勉強したり
敏談したり



子どもギャラリー

親子で
交流したり



調理室

料理したり

水戸市民会館情報

住所 ▶ 泉町1-7-1
開館時間 ▶ 8:30~22:00
休館日 ▶ 12月29日~1月3日
問合せ ▶ 水戸市民会館運営事務局 (☎303-6226)

詳細は
こちら ▶



©SENHA



©SENHA

ゆずの代表曲「夏色」で、みとちゃんがサプライズ登場！会場は歓声の渦に。みとちゃんもノリノリで「夏色」を楽しんでいました！

会場は終始
盛り上がっていました！

ゆず PROFILE

北川悠仁、岩沢厚治により1996年3月に結成した音楽デュオ。1997年に1stミニアルバム『ゆずの素』をリリース。1998年にシングル「夏色」で注目を浴び、以降もシングル「栄光の架橋」など、ヒット作を多数リリース。



北川 悠仁さん

©SENHA



岩沢 厚治さん

©SENHA

今回の公演は、水戸市民会館のこけら落としだけでなく、ゆず単独での初の茨城公演でした。また、この公演で47都道府県を制覇するという記念の回でもあり、スタートから会場の熱気は最高潮！観客の皆さんも、手をたたいたり、飛び跳ねたりして、一緒に盛り上げていました。



©SENHA

Q 水戸について、今までのどのような印象をお持ちでしたか。また、水戸に滞在中に召上がったもので、おいしかったものはありますか。

A. 水戸といえば光圀公。ライブでは水戸黄門に扮することができたり、マスコットキャラクター・みとちゃんとも一緒にライブができて、本当に楽しい時間でした。水戸に来てよかったです。
ライブが終わった日の夜にあんこう鍋屋さんに行っただですが、とても美味しかったです。またあんこう鍋を食べに行きたいです。

Q 水戸の皆さんに一言お願いします。

A. デビューして26年、やっと自分たちのツアーで、茨城県でライブをやることができ、本当に嬉しかったです。茨城の皆さんは本当に温かくて、熱い一体感でこけら落としライブができました。
また必ず水戸でライブをやりま。これからもゆずをよろしくをお願いします。

Q 市民観覧席のチケットに、13,000人以上の応募がありました。水戸市民会館での公演が決まったときの感想を教えてください。

A. スタッフの方から応募数を聞いて、とても驚きました。こんなにたくさんの方が、ゆずのライブを心待ちにしてくれていたんだと嬉しくなりました。

Q 今回のツアータイトルになっている「Rita」。どのような想いが込められていますか。

A. 日本語で「利他」と書くんですが、「利他の心」と言うように、自分を犠牲にして他人のために尽くすこと。そこからツアータイトルをつけました。
でも、いつもそんな利他の心は持たなくて、自分のために行ったことが結果的に誰かのためになることもある。それは僕たちの活動でもそうだし、皆さんそれぞれ日々の生活の中でも感じるのだと思います。Ritaの心を探すようなツアーになりました。

「ゆず」のリーダー、
北川悠仁さんに
インタビューをしました

Q 水戸市民会館グロービスホールで、みとちゃんと一緒に歌った感想を教えてください。

A. 外観も内装もとても美しく、音響も素晴らしい。お客さんとの一体感も感じられる会場で、すごく演奏しやすかったです。ステージから見える景色も素晴らしく、「ここから皆さんのミュージシャンの歴史が始まっていくんだな」と身の引き締まる想いでした。
みとちゃんにはライブ前日に急遽オファーをさせてもらったにもかかわらず、全力でパフォーマンスしてくれました。僕のInstagramやTikTokに上げたみとちゃんとの動画も大好評で嬉しかったです。みとちゃんの身体のフォーム、大好きです。